

# 外国人のための日本語力テスト

## 実用日本語検定 J.TEST

### TEST OF PRACTICAL JAPANESE

実用日本語検定 (J.TEST) と CEFR・日本語能力試験 (JLPT) の対応表 <sup>※1</sup>

「日本語教育の参照枠」 ※2 CEFR	J.TEST (年6回実施)		JLPT (年2回実施)	
	レベル	スコア		
* CEFR C2 * CEFR C1 * CEFR B2	A・C レベル 試験	1000点満点		
		特A級	930点以上	
		A級	900点以上	
		準A級	850点以上	
		B級	800点以上	
		準B級	700点以上	N1 *大学入試レベル
* CEFR B1 * CEFR A2	D・E レベル 試験	700点満点	N2 *専門学校入試レベル	
D級		500点以上	N3	
E級		350点以上	N4 *実習生入国レベル	
* CEFR A1	F・G レベル 試験	350点満点		
F級		250点以上	N5 *日本語学校入学レベル	
		G級	180点以上	

※1 JLPTとCEFRの対応関係は、当事務局独自の判断によるものです。

※2 「日本語教育の参照枠」のA1～C2は、CEFRのA1～C2に準拠しています。

CEFR = Common European Framework of Reference for Languages (ヨーロッパ言語共通参照枠)

<https://j-test.jp>



# J.TESTとは？

- ◆ J. TEST 実用日本語検定は、外国人の日本語能力を測定する試験として、1991年から実施されています。
- ◆ 外国人社員・実習生の能力評価、大学・大学院・専門学校等の出願条件などに利用されています。
- ◆ 国内外 50 都市以上で実施されています。海外では、中国（大陸）、台湾、韓国、モンゴル、ベトナム、タイ、ネパール、ミャンマー、フィリピン、ブラジル、インドネシア、ラオスで実施されています。
- ◆ 年 6 回実施される「公開試験」と、企業・大学・団体等がいつでも実施できる「随時試験」があります。
- ◆ 中国では、2007 年から中国政府認定試験として実施されています。

## J.TESTの特徴

### 1 3種類の試験、レベルとスコアで実力を測定

上級者向けの「A-Cレベル試験」、初級～中級者向けの「D-Eレベル試験」、入門者向けの「F-Gレベル試験」があります。「A-Cレベル試験」と「D-Eレベル試験」はビジネス関連の問題も出題されます。試験結果はスコアで評価されると同時に一定の点数に達した方にはレベルの認定を行っております。

### 2 難易度は毎回一定で受験のチャンスが多い

「A-Cレベル試験」と「D-Eレベル試験」は年 6 回、「F-Gレベル試験」は年 2 回（国内）実施されています。毎回難易度が一定なので、何度も受けることによって日本語力の進歩が分かります。



### 3 「記述式問題」があり、「実用的」かつ「実践的」な日本語力を測定

聴解試験の比重が高く、「生きた表現」が数多く出題されます。すべての試験において、読解問題と聴解問題の得点比率は各50%になります。また、漢字の読み方を書く問題や、短文作成など他の試験にはない「記述式問題」があるのも特徴です。（※F-Gレベル試験は、すべて選択式問題です）J. TESTは実践的な能力を評価します。

### 4 入門レベル～日本語能力試験N1以上の日本語力まで測定可能

「A-Cレベル試験」は、日本語能力試験N1以上の高度なコミュニケーション能力を測定します。また「F-Gレベル試験」は日本語学習入門者向けの試験になっており、日本語学習へのモチベーション維持に役立ちます。

### 5 認定証の発行（随時試験を除く）

一定の点数以上の方には「認定証」が発行されます。また、受験者全員に成績表が郵送されます。



### 6 豊富なダウンロード素材

試験後、J. TESTホームページから聴解試験の音声や「正解と聴解資料」をダウンロードできます。試験後の復習にご利用ください。※音声データの公開は試験実施月末までです。

<https://j-test.jp/8888-2>



### 7 WEBで成績検索ができる（随時試験を除く）

成績のネット検索は、試験終了後約 2 3 日後から下記のURLもしくはQRコードから見ることができます。

<https://j-test.jp/kensaku2>



### 8 無料のWEBテストで受験レベルを確認できる

J. TESTホームページで無料のWEBテストを公開しております。受験レベルの確認や試験勉強にご利用ください。

<https://j-test.jp/webtest>



# 受験資格と出題内容と評価

## 受験資格

## 母語が日本語ではない方。ただし中学生以上

\* 国籍が日本でも母語が日本語でなければ受験できます。

### A-Cレベル試験

1000点満点で点数によって能力を判定します。  
600点以上で基準を満たしている方には認定証が発行されます。

#### 出題内容

- |            |             |
|------------|-------------|
| ● 読解試験 80分 | ● 聴解試験 約45分 |
| I 文法・語彙問題  | I 写真問題      |
| II 読解問題    | II 聴読解問題    |
| III 漢字問題   | III 応答問題    |
| IV 記述問題    | IV 会話・説明問題  |

#### 点数と評価

● 1000点満点(読解500点、聴解500点)

※ 基準:8分野のうち0点の分野があった場合にはレベル認定されません。

特A級	930点以上	様々な分野、場面において、専門的な話題も理解し対応できる高度なコミュニケーション能力がある。
A級	900点	様々な分野、場面において、専門的な話題も理解でき、十分なコミュニケーション能力がある。(CEFR C2)
準A級	850点	様々な分野、場面において、一般的な話題をほとんど理解でき、十分なコミュニケーション能力がある。
B級	800点	一般的な分野、場面において、十分なコミュニケーション能力がある。
準B級	700点	日常生活や職場において、十分なコミュニケーション能力がある。(CEFR C1)
C級	600点	日常生活や職場において、基本的なコミュニケーション能力がある。(CEFR B2)

(600点未満は認定なし) ・日本語能力試験N1=700点(準B級)  
・日本語能力試験N2=600点(C級)  
(日本語能力試験との比較は目安です)

### D-Eレベル試験

700点満点で点数によって能力を判定します。  
350点以上で基準を満たしている方には認定証が発行されます。

#### 出題内容

- |            |             |
|------------|-------------|
| ● 読解試験 70分 | ● 聴解試験 約35分 |
| I 文法・語彙問題  | I 写真問題      |
| II 読解問題    | II 聴読解問題    |
| III 漢字問題   | III 応答問題    |
| IV 記述問題    | IV 会話・説明問題  |

#### 点数と評価

● 700点満点(読解350点、聴解350点)

※ 基準:8分野のうち0点の分野があった場合にはレベル認定されません。

D級	500点以上	日常生活や職場の限られた場面において、ある程度のコミュニケーション能力がある。(CEFR B1)
E級	350点	日常生活や職場の限られた場面において、初級レベルの日本語の範囲ならばコミュニケーションができる。(CEFR A2)

(350点未満は認定なし) ・日本語能力試験N3=500点~(D級)  
・日本語能力試験N4=350点~(E級)  
(日本語能力試験との比較は目安です)

### F-Gレベル試験

350点満点で点数によって能力を判定します。  
180点以上で基準を満たしている方には認定証が発行されます。

#### 出題内容

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ● 読解試験 60分   | ● 聴解試験 約25分 |
| I 文法・語彙問題    | I 写真問題      |
| II 読解問題      | II 聴読解問題    |
| III 漢字問題     | III 応答問題    |
| IV 作文問題(選択式) | IV 会話・説明問題  |

#### 点数と評価

● 350点満点(読解175点、聴解175点)

※ 基準:8分野のうち0点の分野があった場合にはレベル認定されません。

F級	250点以上	初級レベル前期の日本語の範囲ならば、コミュニケーションができる。(CEFR A1)
G級	180点	入門レベルの日本語の範囲ならば、コミュニケーションができる。

(180点未満は認定なし) ・日本語能力試験N5=250点~(F級)  
(日本語能力試験との比較は目安です)

## 書籍のご案内

『J.TEST実用日本語検定問題集』は次のQRコードよりご購入いただけます。



日本語ブックス online



# 公開試験の実施レベル・実施月・実施都市

## A-Cレベル試験(上級) / D-Eレベル試験(初級~中級)

- 年6回(1・3・5・7・9・11月)実施都市 : 東京、千葉、横浜、名古屋、大阪、神戸、福岡
- 年2回(5・11月)実施都市 : 札幌、仙台、埼玉、静岡、京都、広島、大分、沖縄
- 年2回(1・9月)実施都市 : 茨城、栃木、群馬、石川、岐阜、三重、岡山、高松、熊本

## F-Gレベル試験(入門) \*F-Gレベルの実施回数は、海外と異なります。

- 年2回(5・11月)実施都市 : 東京、名古屋、大阪、福岡

### 実施要項・年間予定



<https://j-test.jp/newjtest/schedule>

### J.TEST公開試験実施案内(国内)



<https://j-test.jp/newjtest/next>

## 公開試験お申込み手順

### Step 1 受験料の振込



ATMや銀行の窓口で受験料を振り込んでください。  
必ず振込明細書を受け取ってください。

(ネットバンクの場合はスクリーンショットを撮る。)

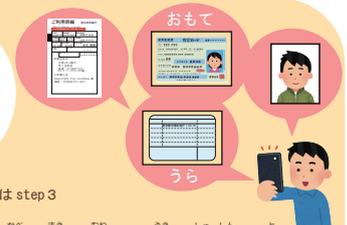
受験料 : 5,800円 (日本国内の中高生は2,900円)

※専門学校・大学・日本語学校の学生は半額になりません。

**振込先**  
銀行名: 三菱UFJ銀行 支店名: 市ヶ谷  
口座名: 株式会社 語文研究社 口座: 普通 0189122  
\* MUFG Bank, Ltd. ICHIGAYA Branch \* SWIFT code BOTKJPJT  
\* GOBUN KENKYUSYA Co.,Ltd. \* ACCOUNT NO. 014-0189122

※振込手数料は、受験者様の本人負担になります。  
日本の銀行口座がなくても銀行の窓口に行けば現金で振込みをすることができます。

### Step 2 写真を撮る



※この4枚(中高生は5枚)の写真はstep3で使います。

- ★顔写真 …… 一色の壁の前で胸から上の写真を撮る。
- ★身分証明書 …… 在留カードやパスポートなど、顔写真のあるページを撮る。
- ★住所のわかる書類 …… 今住んでいる住所がわかる書類(在留カードの裏、届いた郵便物など)
- ★振込明細書 …… 受験料振込の時に受け取った振込明細書の写真を撮る。
- ★学生証または在学証明書(中学生・高校生のみ) …… 中高生の割引を利用する場合は学生証または在学証明書の写真を撮る。

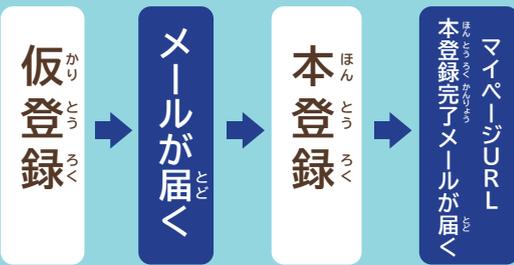
### Step 3 WEBで申し込み

<https://j-test.jp/application>

ホームページにアクセス



J.TEST申込み仮登録のボタンより仮登録をしてください。



問題なければ  
申込完了



不備があれば  
メールで連絡  
一修正する

### Step 4 受験票ダウンロード

受験票のダウンロード期間になりましたら、本登録完了メールにのっている【マイページURL】からマイページに入り、「受験票」「会場案内(地図)」「試験案内」をダウンロードし、紙に印刷してください。